

実験1

水よう液の重さ

手順

めあて

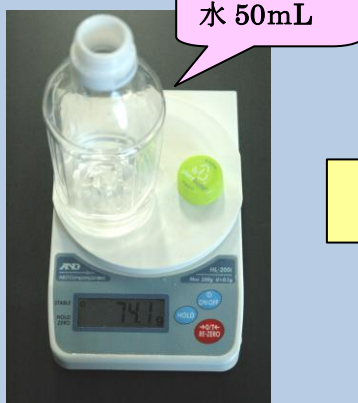
ものが水に溶けても、水とものを合わせた重さは変わらないことを理解させる。

手順

- ① 電子ばかりのスイッチを入れ、はかる前に表示が0gであることをたしかめる。



- ② メスシリンダーではかった水 50mL を入れた容器とふたを合わせた重さをはかる。



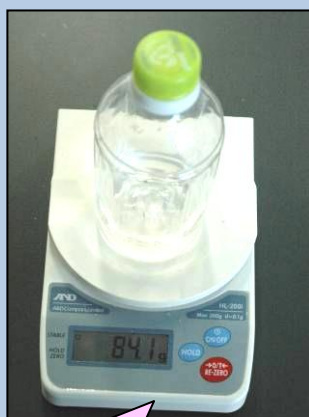
- ③ 食塩をこぼさないように慎重に容器に入れる。



- ④ ふたをしてよくふり、食塩をとかす。



- ⑤ 食塩がとけたら、ふたをした容器と水溶液の重さをはかる。



- ⑥ とかしてできた水溶液は実験2で使うので保存しておく。



実験1

水よう液の重さ

準備

準備物 (1班分)



- ①食塩 10 g 薬包紙
- ②メスシリンダー (100mL)
- ③ふたつきの容器
(例: ペットボトル、ビンなど)
- ④電子てんびん
(台ばかり、上皿てんびん)
- ⑤薬さじ

マメ知識

- A 容器とふたの重さをはかるとき(手順②、⑤)電子てんびんが不要数ない場合は、台ばかりを使用してもよい。**
- B 食塩の量をはかるときは、上皿てんびんを使用してもよい。**

<薬包紙の使い方>

薬包紙は対角線に折って使う。

